

モーセの歌 The Song of Moses

モーセの歌（出エジプト記 15：1～21→新共同訳聖書では、葦の海を渡った奇跡的な出来事を讃美し「海の歌」としている）は、イスラエルの民がエジプトの圧政から解放され、葦の海で奇跡的に救われた直後に、モーセとイスラエルの民が神に向かって歌った勝利と救いの賛美の歌です。旧約聖書における最古の詩の一つとされており、次の1～3に掲げた、深い神学的・象徴的意味を持っている。

1. **神の救いを記憶する歌** この歌は単なる勝利の喜びではなく、「神がどのようにして救ってくださったか」を世代に語り継ぐための信仰の告白です。

2. **礼拝と賛美の模範** 感情だけでなく、神のご性質を明確にたたえ、礼拝の手本とされている。

3. **新約とのつながり** この歌は黙示録 15：3 で「**神の僕モーセの歌**」として再登場し、終末における神の勝利の象徴ともなっている。

→ヨハネの黙示録 15：3～4 彼らは、**神の僕モーセの歌**と**小羊の歌**（イエスの贖いの業と神の栄光を称える、贖われた者たち[救われた者たち]が賛美する、神と小羊キリストにささげる歌）とをうたった。「全能者である神、主よ、／あなたの業は偉大で、／驚くべきもの。諸国の民の王よ、／あなたの道は正しく、また、真実なもの。4 主よ、だれがあなたの名を畏れず、／たたえずにおられましょうか。聖なる方は、あなただけ。すべての国民が、来て、／あなたの前にひれ伏すでしょう。あなたの正しい裁きが、／明らかになったからです。」

【構成】

1. 主の勝利をたたえる(1～5 節)

モーセとイスラエルの民は主を賛美してこの歌をうたった。主に向かってわたしは歌おう。主は大いなる威光を現し／馬と乗り手を海に投げ込まれた。2 主はわたしの力、わたしの歌／主はわたしの救いとなってくださった。この方こそわたしの神。わたしは彼をたたえる。わたしの父の神、わたしは彼をあがめる。3 主こそいくさびと、その名は主。4 主はファラオの戦車と軍勢を海に投げ込み／えり抜きの戦士は葦の海に沈んだ。5 深淵が彼らを覆い／彼らは深い底に石のように沈んだ。

2. 神の力と救い(6～10 節)

主よ、あなたの右の手は力によって輝く。主よ、あなたの右の手は敵を打ち砕く。7 あなたは大いなる威光をもって敵を滅ぼし／怒りを放って、彼らをわらのように焼き尽くす。8 憤りの風によって、水はせき止められ／流れはあたかも壁のように立ち上がり／大水は海の中で固まった。9 敵は言った。「彼らの後を追いつ／捕らえて分捕り品を分けよう。剣を抜いて、ほしいままに奪い取ろう。」10 あなたが息を吹きかけると／海は彼らを覆い／彼らは恐るべき水の中に鉛のように沈んだ。

3. 神の他に並ぶ者なし(11～13 節)

主よ、神々の中に／あなたのような方が誰かあるでしょうか。誰か、あなたのように聖において輝き／ほむべき御業によって畏れられ／くすしき御業を行う方がいるでしょうか。12 あなたが右の手を伸べられると／大地は彼らを呑み込んだ。13 あなたは慈しみをもって贖われた民を導き／御力をもって聖なる住まいに伴われた。

4. 諸国民の恐れと主の御業(14～16 節)

諸国の民はこれを聞いて震え／苦しみがペリシテの住民をとらえた。15 そのときエドムの首長はおののき／モアブの力ある者たちはわななきにとらえられ／カナンに住民はすべて気を失った。16 恐怖とおののきが彼らを襲い／御腕の力の前に石のように黙した／主よ、あなたの民が通り過ぎ／あなたの買い取られた民が通り過ぎるまで。

5. 神の住まいへの導きと永遠の支配(17～18 節)

あなたは彼らを導き／嗣業の山に植えられる。主よ、それはあなたの住まいとして／自ら造られた所／主よ、御手によって建てられた聖所です。18 主は代々限りなく続べ治められる。

6. ミリアムと女たちの応答(19～21 節)

ファラオの馬が、戦車、騎兵もろとも海に入ったとき、主は海の水を彼らの上に返された。しかし、イスラエルの民は海の中の乾いた所を進んだ。20 アロンの姉である女預言者ミリアムが小太鼓（→口語訳、聖書協会共同訳：タンバリン）を手にとると、他の女たちも小太鼓を手を持ち、踊りながら彼女の後に続いた。21 ミリアムは彼らの音頭を取って歌った。主に向かって歌え。主は大いなる威光を現し／馬と乗り手を海に投げ込まれた。

【参考】申命記 31：30～32：44 に登場する「モーセの歌」は、モーセが死ぬ前にイスラエルの民に向けて語った歌です。この歌は、神の偉大さとイスラエルの民の不忠実さを強調し、神の裁きと救いの計画を伝えるものです。モーセの最後の言葉として、未来に対する警告と励ましが込められている。

2025.07.22